

令和 7 年 3 月臨時教育委員会会議録

令和 7 年 3 月 3 1 日 臨時熊谷市教育委員会を熊谷市立熊谷西小学校体育館
内まごころルームに招集する。

○ 出席者

野原 晃、大石 聡一、加藤 道子、小林 敏宏、浅尾 景子

○ 出席事務局

教育次長	三友 孝二
参事兼学校教育課長	中谷 樹
教育総務課長	小暮 洋久
社会教育課長	小澤 信行
文化財保護・市史編さん担当副参事	吉野 健
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課主事	浅見 柚妃

1 1 時 0 0 分 3 月臨時教育委員会開会

教育長が、令和 7 年 3 月臨時熊谷市教育委員会の開会を宣言し、本会議の会議録
の署名人に小林委員を指名した。

事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。

教育長から、報告第 3－10 号及び議案第 18 号から議案第 20 号、は、人事案
件のため非公開とし会議録に載せない旨の発議があり、出席委員全員が賛成し非公
開で行われることに決定した。

教育総務課長から、3 月 3 1 日及び 4 月 1 日の会議録については 4 月 2 5 日開催
の 5 月定例教育委員会でそれぞれ承認いただけるよう進めるとの説明があった。

日程第 1（報告第 3－9 号）江村栄一記念賞の受賞について

文化財保護・市史編さん担当副参事から、江村栄一記念賞の受賞について説明が
あった。

市史編さん室では、令和 2 年度刊行書籍『熊谷市史料集 7 自由民権運動史料 1
「七名社」の時代』及び令和 5 年度刊行書籍『熊谷市史料集 8 自由民権運動史料
2 「七名社」の時代 続編』が、江村栄一記念会から「第 4 回江村栄一記念賞 自
由民権地域研究・顕彰活動賞」を受賞し、過日年 3 月 2 日に授賞式に出席した。

江村栄一記念賞とは、自由民権運動史研究に不朽の功績を残された、法政大学名
誉教授であった故 江村栄一氏の多大な業績をたたえ、その研究や研究姿勢を継承す

るため設立された「江村栄一記念会」が、自由民権運動史の研究において、顕著な業績を残された者、地域において顕著な研究や顕彰活動をなされた者や団体等に対し、令和3年から年1回授与しているものである。

受賞にあたり、正賞として賞状及び楯、副賞として賞金30万円をいただいた。この受賞は、自治体としては初のことである。なお、賞金については、好評につき現在品切れになっている『熊谷市史料集7 自由民権運動史料1 「七名社」の時代』の増刷の費用に充てることとする予定であるとの説明があった。

日程第2（議案第15号）令和7年度教育委員会の具体的な取組について

教育総務課長から、令和5年度から始まった「新熊谷プロジェクト」に基づいて実施する施策の見直しを行ったこと、また、主な内容には、「施策1 学力日本一を目指す（知・徳・体）」の「単位施策1 子どもたちの学力（知）を伸ばす」の具体的な取組「2 学力向上対策の推進」に、新しくまなびスクールを全小・中学校に開設」と、「新しくまなびスクール支援員、特別支援教育支援員、日本語指導補助員による多様なニーズに対応した指導」を追加したと説明があった。

次に、「単位施策3 子どもたちの体力（体）を伸ばす」の具体的な取組「1 学校体育の充実」について、「めあてをもって進んで運動、仲間と学ぶ、喜びあふれる体育授業の実践」に修正したと説明があった。

（議案は、原案どおり可決）

日程第2（議案第16号）熊谷市教育委員会部局職員安全衛生管理規程の一部を改正する訓令について

日程第2（議案第17号）熊谷市立妻沼展示館条例施行規則の一部を改正する規則について

教育総務課長から、上記2議案について一括して説明があった。

熊谷市教育委員会部局職員安全衛生管理規程では、労働安全衛生法の規定に基づき、常時10人以上職員がいる職場に衛生推進者を置くことと定めているが、妻沼展示館内にある市史編さん室が令和7年度から旧星宮小学校に移転することにより妻沼展示館がこの要件に該当しなくなるため、妻沼展示館の文言を削除するものである。

また、熊谷市立妻沼展示館条例施行規則では、事務分掌や施設の利用申請等について定めているが、事務分掌に関する記述は不要なため該当する条文を削除し、併せて、施設の利用申請等に関する条文についても文言の整理を行い、様式の体裁を整えるものであるとの説明があった。

（議案は、原案どおり可決）

日程第 2（議案第 18～20号）非公開

（議案は、原案どおり可決）

日程第 1（報告第 3－10号）非公開

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和 7 年 3 月臨時熊谷市教育委員会を閉会した。

（11時30分 閉会）

署名

教育長 野原 晃

委 員 小林 敏宏